



〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL(088)833-4394 FAX(088)833-7373 <http://www.tosaobog.com>



新旧理事長の歓送迎会にて 平成31年3月12日(左 傍士銚太氏 右 池上武雄氏)



### 理事長就任のご挨拶

学校法人土佐高等学校

理事長 傍士銚太(49回生)

昨年12月、池上武雄先輩から理事長を引き継ぎました傍士銚太(49回生)です。誇り高き歴史と伝統の重い責務を担うこととなりました。引き続き地域に愛され笑顔あふれる学校づくりに、教職員や同窓生皆様の支えを賜りながら取り組んで参ります。

これから少子高齢化や人口減少が本格化する中で、全国的に若者は「憧憬」の念強く、依然として東京一極集中が続くなど、地域の学校が置かれた環境には厳しい現実があります。

とはいえ、こうした時代の変化に対して、土佐校には常に多様性に拓かれた強い希望があります。小さくても弱くても、それらをリスベクトできる学習環境の下、ジョン万次郎や牧野富太郎など幾多の郷土の先人たちのように、未知の世界への冒険心と絶えない探究心を養い、土佐校で学ぶ尊い価値を世界中に高め広めることが可能です。

今では日常化された中学「合唱コンクール」が誕生したように、自分たちの手で何かづくりあげていきたいという志を表現する強い個人がこれから先も育つ時、きっと新しい分権社会の夜明けが土佐から見えてでしょう。これまで長く繰り返されてきた若者の「憧憬」と「郷愁」のサイクルも短くできます。

来年、創立百周年を迎えるにあたり、これまで2万人有余の同窓生たちと育んできた「自由」という土佐のアイデンティティを共有して明日へ明日へ明日へ。御寄付も、また力強い後押しになります。ご協力に心より感謝申し上げます。

# 2019 ホームカミングデー

日時 / 令和元年8月17日(土) 12:00~

## 講演会

筆山ホール講演会  
地域愛のある風景から  
“国のかたちをせんとくする”

学校法人 土佐高等学校 理事長  
傍士 銑太 氏 (49回生)



“愛には形がないよ”とか言うけれど、形として見えることがたくさんあるということ、郷土や母校を愛する気持ちはあっても、それを目に見える形で表すことの大切さについて気付かされました。

## Uターン相談室



## 特別授業

土佐高野球と私

土佐中・高等学校教諭  
楠目 博之 先生(51回生)



ホームカミングデー特別授業二回目の登壇。楠目先生には土佐高野球部の輝かしい歴史と、野球部と先生との関わりについて熱く語っていただきました。甲子園で校歌を歌いたいぞ!



## 大人の発達障害って そういうことだったのか

～自分のために、仲間のために  
知っておきたいこと～



北里大学東病院長  
宮岡 等 氏 (49回生)

筆山ホールがいっぱいになるほどの参加者に大人の発達障害に対する関心の高さが伺えました。多様化する社会、複雑な人間関係、みんなが暮らしやすい社会となるよう互いに理解を深めることの大切さを学びました。



## 私たちはなぜいま 本屋を始めるのか

フリーランス書店員  
久禮 亮太 氏 (69回生)

縮小する出版市場で、敢えてフリーランス書店員になるという興味深い背景について、楽しく、わかりやすくお話いただきました。



## 土佐校体操



西内 一人先生 (59回生) と 89回生のみなさん  
(写真中央)

## 演奏会

## 「Bed Sounds」ライブ



高知街ラ・ラ・ラ音楽祭の常連、土佐高OBによるポップスコラスバンド。爽やかな歌声に食堂に西海岸の風が吹いていました。

# 懇親会



三木先生、掛水先生と新卒生(94回生)の皆さん

## 2019年度 土佐中・高等学校同窓会



2019ホームカミングデーを企画運営した「9の会」の皆さん

### 令和元年ホームカミングデー開催

「9の会」実行委員長 橋本 雅彦 (49回生)

私達49回生が、母校の施設設備をお借りして、卒業30周年の記念同窓会を催した2004年8月、時を同じくして、学校・同窓会をあげた記念行事「ホームカミングデー」が始まりました。

その後、この催しが内容も充実し、今日の興隆を見ていることは、各回生ほか関係の皆様のご不断の努力の賜物と存じます。

本年、2019年は、西暦の末尾「9」の付く卒業回生が「9の会」を組織することになり、幹事となりました。久しぶりに訪れた学び舎では、同期生の理事長、校長が教職員の先頭に立って、母校のために奮闘していました。

さあ、来年は、いよいよ創立100周年。扉を開けようとしている次の百年に、母校が更に輝かしい未来を紡いでいきますように。



**来年のホームカミングデー 2020年8月15日(土)開催予定**

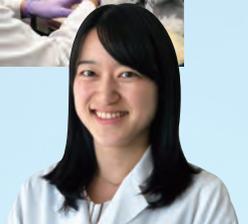






# 日本人で唯一の受賞

## 高村 理沙 (86 回生)



所属  
早稲田大学大学院先進理工学研究科  
生命医科学専攻分子脳科学研究  
博士後期課程 2 年  
理化学研究所脳神経科学研究センター  
神経老化制御研究チーム JRA  
京都大学大学院医学研究科システム  
神経薬理学部門 特別研究学生

### 将来に向けて

海外での発表は緊張しましたが、発表後には多くの質問を受け、世界中の研究者に自ら研究を紹介できた喜びを感じました。アルツハイマー病の根本的治療法はまだ確立しておらず、予防薬や治療薬の開発など課題は山積みです。今回の受賞を励みに、今後も夢に一歩ずつ近付いていけるような選択をしていきたいです。

最後になりますが、研究を支えて下さった教授、研究室メンバー、そして学びの起点となった土佐校の先生方に感謝申し上げます。今回のことが少しでも母校への恩返しになれば幸いです。

### 研究への興味

研究というものを意識し始めたのは学部1年次、奨学金申請の際「私の夢」を書く欄があり、「アルツハイマー病を治す研究がしたい」と書いた頃からです。私の祖母はアルツハイマー病を発症しており、記憶が失われていく様子を日々目の当たりにしていたため、この病気には特別な思いがありました。言霊というのは不思議で、その後も進路の岐路に立つ度にこの夢に近づく選択を繰り返し、徐々に夢が現実味を帯びていきました。

### 受賞した研究内容

アルツハイマー病モデルマウスの神経細胞を観察し、記憶障害の原因となる細胞活動異常を調べ、今回の受賞に至りました。本研究の強みは、行動下のマウスの細胞活動を観察できる

基礎研究はすぐに結果の出るものではありませんが、地道な結果の積み重ねがいつしか実を結び、新たな発見に繋がります。その点では、土佐

高校在学时、数学の問題を頭の片隅に眠らせておき、ふとした時に考えるのが好きだった私の性に合っているのかもしれません。

社会で活躍されている多数の土佐高校卒業生からピックアップしてご紹介するシリーズ『我ら土佐』。シリーズ2回目の今号は、土佐高校を卒業して9年目という若き86回生のお二人、高村理沙さんと小島東洋さんをご紹介させていただきます。若干27歳という若さながら、それぞれははっきりとした目標を持ち、自由な発想とたゆまぬ努力により大変な活躍をされています。将来有望な二人から今後目が離せませんね！

2019年3月にリスボンで開催されたアルツハイマー病・パーキンソン病学会にて、Junior Faculty Awardを受賞しました。これは博士課程卒業後5年以内の若手を対象に贈られる賞で、世界で20人、日本人では唯一の受賞となりました。



# 舞台とテレビ

## まだまだ未熟者ですが

小島 東洋 (86回生)



「半分、青い。」ロケより

所属  
東洋企画 TO40 KIKAKU 代表  
NHK 鹿児島放送局ディレクター

演劇をやってみたい、そう思ったのは

中学2年のときの向陽祭でした。当時生徒会などで活躍していた村田さんという先輩が中心にやっている芝居に、ぼくは密かに魅了されていました。教室所狭しと集まったお客さん、その中で演じる先輩、後輩、同級生の眩しい姿は今も目に焼き付いています。焼けて溶けて貼り付いています。

そうして大学生になって、大阪大学で演劇サークルを選んでしまったのが運の尽き。自分で「東洋企画」なる劇団を恥ずかしげもなく立ち上げ、劇作家・演出家・俳優を名乗りながら現在に至っています。(大学の授業中は常に台本を書いています…)

そんなぼくは今、NHK 鹿児島放送局でディレクターとして働きつつ、週末を中心に演劇を続ける、舞台とテレビの二足の草鞋を履いています。二

足の草鞋と書きましたがぼくにとって  
は車の両輪のようなものです。

昨年まではNHKドラマ部に所属し、大河ドラマ『おんな城主 直虎』、朝ドラ『半分、青い。』の助監督として走り回る、文字通り勉強の日々でした(過酷でした)。鹿児島局ではドキュメンタリーに加え、のど自慢や高校野球、選挙や台風などの災害対応、なんでもやっています。

報道という立場に立っていると、しばしば「これでいいのか?」と思うような出来事に直面する時があります。鹿児島という縁もゆかりもない土地に暮らしていると地方の問題や自分の家族について「思う」ことが生まれます。

ぼくにとって演劇はそうした「思い」の発露の場所でもあります。会社では当然ながらペーパーなので、大

きな企画を担える立場ではありません。しかし、今のこの年代でしかできないことがある、この年齢だから感じることもある。ぼくのつくっているテレビと舞台は大きく違います。この「違い」を軽やかに行き来することこそが今のぼくの楽しみです。昨年は「Instagramで話題の投稿を繰り返す女の子が実は友達の投稿を真似しているだけだった」という芝居を書きました。今はより現代を風刺した芝居をつくっています。

仕事は芝居にも活きるし、芝居をすることで仕事での視野も広がっている。将来的には大河ドラマや朝ドラの演出を手がけたいと思っています。その年齢に自分がなったとき、自分なりの表現で多くの方を楽しませることができるよう、今、力を尽くしたい。

仕事でも芝居でも、大切にしている

のは「みんなが右を向いているときは左を見る」ことです。つまりはひねくれ者です。

演劇でもNHKでも土佐の諸先輩方、後輩の方にお会いする機会があります。その度に、校舎の話、先生方の話になり、母校の懐の広さを思い知る昨今です。こんな勉強も運動もできないあふれ者をよく受け入れてくれたなと思います。

決して楽しい中学・高校生活だったとは思いません。もう一回やれと言われたら断る気がします。けれどこの「寛容な」母校がぼくに「知識を積み重ね研鑽する」ことを教えてくれたからこそ、今がある。これは間違いないと思います。

これからも襟を正してがんばっていきなと思っています。



第三回東洋企画「太陽の塔の四つ目の顔を見たことがあるか」舞台稽古より



第八回東洋企画「FASHION」より



# 学校近況報告

## 百周年を契機にさらなる発展を

学校長 小村 彰 (49回生)

### ☆生徒の活躍も各一行で

- ・ 九四回生現役国公立大合格最多
  - ・ 県体四二年ぶり六種目団体優勝
  - ・ 佐賀総文祭に九部門六三人出場
  - ・ 高校総体登山と陸上二百m入賞
  - ・ 中学ソフト四国優勝、全国三位
  - ・ 全国中学囲碁大会で中三が四位
  - ・ ニュージールランド研修に二〇名
  - ・ ガーナ生徒と東京・高知で交流
- 生徒たちの積極的な活動・活躍を嬉しく頼もしく思っています。

### ☆創立百周年記念事業本格化

#### ①百年史は着々と進んでいます

宮崎大学の湯田准教授を中心とする執筆グループによる本文は、本校の歴史にとどまらず、高知県で私学の隆盛を導いた過程など、近代の高知県の教育史全般を記述する本格的な学術著作として進捗しつつあります。一方で、本校教職員による資料編、回顧展望編も学校に残されているさまざまな記録を整理し、百年の節目にふさわしい集大成として、形を整えつつあります。二〇二〇年の年明け早々には原稿をとりまとめ、十一月十八日の創立記念日に発行できるよう、準備を進めていきます。なお、紙媒体での発行部数はかなり限定された数になりますので、DVDなどの電子媒体での発行も

検討しています。

#### ②記念の催しの企画も徐々に

創立記念日の前日に記念コンサート&リレートーク、当日には記念式典・講演会と祝賀会を開催します。記念コンサートではフルオーケストラ版が完成した百周年記念歌を披露します。リレートークには各界で活躍中の若手卒業生、記念講演は元厚生労働事務次官の村木厚子さん(四十九回生)にお願いしています。また、いくつかの運動部が記念の招待試合を計画しています。さらに、創立記念日の直前、十一月十日から十五日まで、高知市文化プラザかるぼーとの七階市民ギャラリーの五つの展示室を借り切って、記念展覧会(仮称)を開催します。学校の歩みを物語るさまざまな資料を展示するとともに、文化部の生徒の作品展示を合体させて、本校の過去と現在を広く市民の方に見ていただくという企画です。

#### ③オリジナルグッズも形になって

六月にやぐらグラフィティの改訂版が完成。昇降口に昨年の九十四回生までのやぐらの写真が並びました。さらに、五十二回生の安田雅彦さんにお骨折りいただいたオリジナル年賀葉書のデザインも完成。この「向陽」がお手元につく頃には、頒布を始めています。皆さまにお使いただければ幸いです。その他、記念式典などでお配りする記念品と

して、本校卒業生が経営する蔵元の日本酒など、従来の記念品のイメージを覆すような企画も考えています。

すべてを通じて、在校生、保護者、そして卒業生の皆さまとともに、百年にふさわしい有意義な、しかも笑顔で盛り上げられるような催しにしていきたいと思います。どうか、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。



創立百周年  
オリジナル年賀葉書  
【お申込は学校HPから】

### ☆卒業生、ちよつといい話

九月八日(日)、オーテピア高知図書館で、三省堂の大辞林第四版発行記念講演会が行われました。その講師を務めたのが、この大辞林の編集長で三省堂辞書部長の山本康一さん。本校の六十回生でコース別研修でも何度もお世話になって来た方ですので、そのお礼の意味もあって講演会に参加させていただきました。予定した参加数を上回り、椅子を補充した窮屈な会場でしたが、映画「船を編む」の監修をした際の裏話や、ゲラ刷りのゲラは古代ローマのガレー船からきているなど、興味深い話に聞き入りました。その中で、もっとも驚いたのは、この第四版の大辞林は第三版より二百頁以上増えているのに、厚さは逆に薄くなっているということ、そしてそれを可能にした薄い紙の開発をした日本製紙パピリアの

社長さんが本校の卒業生だという話でした。後で確かめてみると、この社長さんは五十回生の三宅純生さんであるとわかりました。今年の出版界の大きなトピックであるこの大辞林の出版に、本校卒業生がふたりも関わっていることにたいへん誇らしい思いを抱いたことでした。

卒業生の活躍は、後輩である生徒たちはもちろん、その保護者、そして私たち教職員にとって大きな励みになっております。今後とも、皆さまのご活躍と母校へのご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。(令和元年九月二十二日記)

### 森田幸雄先生、安らかに…

令和元年7月10日、平成34年4月から14年3月まで学校長を務められた第六代校長の森田先生がお亡くなりになりました。森田先生の時代に土佐校は創立80周年を迎え、100年委員会や教員研修(TSL)委員会などが発足し、それは今もなお現場で活きております。森田先生の多大な功績を讃え、謹んでご冥福をお祈りいたします。 合掌



●合格の状況●

Table with 5 columns: 国立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various national universities and their exam statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various private universities and their exam statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various private universities and their exam statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various private universities and their exam statistics.

Table with 5 columns: 公立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various public universities and their exam statistics.

Table with 5 columns: 準大学・海外大・その他, 現, 過, 計, 進学. Lists other institutions and their exam statistics.

2019年度大学入試総括 進路部長 藤岡優太 (58回生)



平成最後の卒業生である94回生のセンター試験は、平成31年1月19日(土、20日)インフルエンザの猛威の中での実施となりました。試験当日まで追試験の対応を心配せざるを得ない状況でしたが、体調万全ではない生徒はいたものの、皆がこの試験を最後まで受験できたことに胸をなで下ろした次第です。

◆2019年度結果◆ 平成最後の卒業生である94回生のセンター試験は、平成31年1月19日(土、20日)インフルエンザの猛威の中での実施となりました。試験当日まで追試験の対応を心配せざるを得ない状況でしたが、体調万全ではない生徒はいたものの、皆がこの試験を最後まで受験できたことに胸をなで下ろした次第です。

◆今後に向けて◆ 現高3(95回生)が受験する令和最初のセンター試験は、最後のセンター試験となります。2020年度入試は新入試の関係で全国的に安全志向が高まると思われ、新入試は現行入試と比べ内容的に大きく変わるわけではありません。出願に際し、全国的な安全志向は考慮しなければなりません。出願に際し、全国的な安全志向は考慮しなければなりません。出願に際し、全国的な安全志向は考慮しなければなりません。

◆東大・京大◆ 東京大・5名(現役3名・既卒2名) 昨年2名(現役2名、京大・6名(現役3名・既卒3名) 昨年8名(現役5名・既卒3名) ◆難関国立大(旧7帝大・神戸・一橋・東工)◆ 44名(現役27名・既卒17名) 昨年46名(現役26名・既卒20名)

◆現役私立大合格数◆ 348 昨年313 一昨年201 ◆国立医学部医学科◆ 33名(現役15名・既卒18名) 昨年33名(現役15名・既卒18名) ◆公立大◆ 94回生(現役)の国立大学の合格数は134。これは、共通一次開始昭和54年度入試以来連続方式でのいわゆるダブル合格の存在した年度を除けば最大の数字であり見事な成績を残してくれました。

94回生は「進学の手引」での学年主任(瀧谷先生)の言葉にもあるように、「昭和の匂いがする」底力のある学生だったように思います。この生徒たちの取り組みに加え、日頃から生徒たちを安易なセンター対策に向かわせず、個別試験に向けてのしっかりとした取り組みに向かわせた主任の指導、最後の最後まで気を抜かず勉強し続ける粘り強い指導が大きな成果に結びついたのでと思います。

# 中学ソフトボール部 「素人集団」が全国3位に！

## 中学ソフトボール部顧問

小松 亮太 (83回生)

この夏、中学ソフトボール部は県総体を58年ぶりに制し、四国総体も初優勝。和歌山県で開催された全国大会では、準決勝で優勝した新見第一中学校(岡山県)に敗れましたが、3位入賞となりました。

OBや関係者をはじめ、多くの方々にご支援いただきましたことを、厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

「本気で頑張ったなら、優勝を狙えるチームになると思うよ。」2年前、私は現3年生たちにそう言いました。しかし、経験者は少年野球をしていた主将一人だけ…。最初の頃は、試合をしてもコールド負けの連続でした。それでも、「応援されるチーム」を目標に、自分たちの可能性を信じ、毎日の練習に一生懸命取り組んだことで、昨年10月の県新人大会で



初優勝するまでにチームは成長しました。小さな努力を積み重ね続けた生徒たちは、本当にすばらしかったと思います。

自分たちの頑張りだけではありません。保護者には、毎週のように練習試合の送り・サポートをしていただきました。学校やカテゴリーをこえて、多くの指導者にアドバイスをいただきました。

先生方には、生徒たちの成長を温かく見守っていただきました。今回の成果が、お世話になった方々への一つの恩返しになればと考えています。

8名の3年生たちは、高校でも競技を続けると言ってくれています。文武両道をモットーに勉学に励みながら、高校ソフト部にとって悲願の全国大会出場の夢を、彼らが叶えてくれるであろうと確信しています。また、彼らの背中を見て育つ、後輩たちのこれからの成長が楽しみです。今後とも応援よろしく  
お願い致します。

# 土佐軽音・ド根性ガール with B 全国大会優勝

## 軽音楽部顧問

矢野 淳彦

2018年11月24日「第8回とよさと軽音楽甲子園」で、軽音楽部の2年生5人組「ド根性ガール with B」は文部科学大臣賞を受賞した。

その夏、ド根性は、誰もが確実視していた「軽音楽」の最優秀賞を逃していた。そのショックから立ち直りかけた彼らに追い打ちをかけたのは、台風による「Thee Rock in HITCHINAKA」中止の知らせだった。高校軽音部員の誰もが夢見る最高の舞台が吹き飛ばされたのである。

進路室に集まったメンバーの長い沈黙を破った言葉は、「それなら、自分たちでフェスを作ろう」だった。すぐに準備に取りかかり、賛同してくれる20バンドが集まった。途中で会場が変更になるなど、道のりは平たんではなかったが、11月11日、会場に入った私は驚いた。発泡スチロールに電飾を貼り付けた



「根性ロック」の文字が、ベイファイブスクエアの大きなステージに燦然と輝いていたのである。聞くと、すでに大学進学を決めていた94回生の先輩が設計し、みんなで作ったということだ。これを見て、フェスの成功は間違いないと、心が大きくなった。

その2週間後、ド根性は「けいおんの聖地」のステージに立っていた。彼らが出場権を獲得したもうひとつの大きな全国大会である。苦境を乗り越えたド根性は、オリジナル2曲をこの大会にぶつけた。シャッフルビートで会場を揺さぶる

「あいわんと」、そして「ファンキーババアになんたくて」。タイトルを聞いてムツとした人も、曲を聞くと笑顔になるド根性の代表曲だ。会心の演奏だった。それにしても、表彰式で最後に名前を呼ばれるまでの時間があんなに長く苦しいものとは思わなかった。私事だが、ド根性の5人から「ファンキージジイ」に認定され、老後の元気をいただいている。

頑張る現役生のクラブ活動状況は、土佐中・高等学校HP クラブ・生徒会↓  
特活通信「右文尚武の軌跡(三木)宏特活部長・65回生」で詳しく掲載しています。

## 北海道支部

事務局長 山本隆昭(53回生)

事務局の山本です。

昨年の北海道胆振東部地震から1年が過ぎました。震源近くの厚真町では大規模な地滑りがたくさん起き、多数の道が埋まったり、崩れたりして至る所で通行止めとなっていました。最近、厚真町に行きましたが大型ダンプが行き交い、いろいろなところで工事が行われていますが未だに復興半ばといったところで、住宅地のすぐ裏手で工事が行われているようなところもありました。街中や幹線道路では整備が進んでいますが、山中の崖崩れについてはほとんど手がつけられておらず、今後さらに崩れたりしないか心配な状況です。

それでは北海道支部の活動についてお知らせいたします。北海道支部の主な活動は、例年秋に開催している支部総会です。2018年度は9月15日にロイトン札幌で開催しましたが、地震直後と



2018年度北海道支部総会にて

いうことで一時は開催が危ぶまれました。来賓として、学校より小村校長先生、同窓会本部より矢野副幹事長、入野副幹事長、関東支部より佐々木泰子顧問、濱田副幹事長、東海支部より前田支部長にご出席いただきました。矢野副幹事長の奥様と北海道支部からの6名と合わせて13名での開催となりました。今回は特に協議する議題もなく、すぐに楽しい懇親会となりました。

最後になりますが、今後も北海道支部を宜しくお願い致します。また、転勤、進学などで北海道にいらっしゃる方がありましたら、是非北海道支部まで連絡を下さい。本部を通してでもかまいませんので宜しくお願い致します。

## 関東支部

学年幹事 島村 昭範(49回生)

こんにちは、関東支部49回生学年幹事の島村昭範です。関東支部では6月1日に総会・懇親会が開催されました。本年度の総会・懇親会の企画・進行は、39回生の吉村尚徳名誉代表幹事と59回生の森木隆裕代表幹事を筆頭として、9の会が担当いたしました。

9の会では、59回生が全体を総括・支援し、79回生が懇親会を担当し、我々49回生は、二宮潔関東支部事務局長を中心として、総会と記念対談を担当し

ました。

同期で関東在住の傍士銃太理事長も含めて検討を開始して、49回生の小串記代さんと村木厚子さんに対談をお願いすることになりました。両対談者にも出席していただき記念対談の内容や形式について議論を重ねた結果、本番の記念対談では好評を博することができました。



関東支部総会に集結した49回生の一部

総会当日には母校からの小村彰校長先生をはじめ、山口県宇部市からは「ひざ裏のばし」体操の川村明さんが駆け付けるなど、全国から25名の49回生が集結しました。9の会で49回生が活躍するのもこれが最後と思いますので、次回からは59回生以降の若手の皆さまがますます盛り上げてくださると思います。蛇足となりますが、私個人は8月17日のホームカミングデーにも9の会メンバーとして、朝の準備から参加させていただきました。こちらでも「大人の発達障害」講演の宮岡等さんをはじめ、9の会の橋本雅彦実行委員長と谷晃実行副委員長以下、50名以上の49回生が集まりました。

## 東海支部

幹事 戸田 祐嗣(66回生)

同窓生の皆さん、こんにちは。東海支部幹事の戸田です。

東海支部では5月11日に支部総会を開催し、40回生の松岡啓介さん(九州大学極限プラズマ研究センター)にご講演をいただき、本部、各支部からご来賓とともに気の置けない同窓の間で楽しい歓談の時を過ごしました。11月17日には恒例の冬期懇親会を予定しております。また、東海地区の大学に在学中の同窓生に声をかけ、若手中心の飲み会も開催するなど、シニア、若手一丸となって支部を盛り上げていこうと頑張っています！

さて、名古屋と言えば、リニア新幹線の建設、新東名、新名阪の建設・延伸など今も交通に関するビッグプロジェクトが動いている地域ですが、昔から東海道、中山道の結節点として日本の交通のかなめでした。最近の私のちょっととした東海地区の楽しみ方として、出張ついでや、夫婦



2019年度東海支部総会にて

で週末に出かける時などに、東海道や中山道の宿場町を訪れることにはまっています。歌川広重の浮世絵に描かれた風景が今もそのまま残っている宿場町も多く、参勤交代の大名行列の方たちも食べたであろう地元料理を味わいながら、200年ほど前の日本の雰囲気やタイムトリップするのもなかなかいい時間です。名古屋城、伊勢神宮、長良川の鵜飼いなど有名な観光名所も、もちろんお勧めではありますが、少しお時間に余裕をもって東海に訪れる機会を作っていたら、のんびりとした街道巡りを楽しんではいかがでしょうか！旅の拠点・名古屋で東海支部同窓生一同、皆さんのお越しをお待ちしております！

## 関西支部

船木みあさ(65回生)

令和という時代が幕を開け、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される。

それもこれも、全て、土佐中学・高等学校創立百周年を祝う行事の一環として準備されているようで、面白い。

——土佐は時流に乗っている——  
そんなことさえ、思ってしまう。

小6の夏、受験しようと、学校を見に行った。正門に「私立土佐中学校」。

——わたくしりつ？私達でつくる学校という意味？——

「私立」という言葉に誇りを感じた。

入学後、自律、礼節、文武両道という言葉をよく耳にした。ことあるごとにタイミンク良く「協力一致誓ひして」、「冠する土佐の名に叶へ」と、校歌が引用され、さり気なく学校からのメッセージが届けられた。

今、振り返ると、生徒にプレッシャーをかけない配慮をし、黙々と現在より一足先の教育環境を整え、生徒一人一人の主体性を重んじて、自ら立つのを見守ってくれる学校だと思ふ。

土佐という学校には多様な思いがぶつけられる。それを成長の糧とし、歩を進め続け、気が付くと、百年の歴史を持つ学校になっていったということだろう。これからも、さらなる発展を願う。私達でつくる学校だから。

関西支部では、令和2年2月22日(土)、KKR

ホテル大阪  
(JR森ノ宮  
駅より徒歩10  
分)で令和2  
年度の総会を  
開催すること  
に。皆さん、  
大阪城を見な  
がら是非、お  
話しましょう。



2019年度関西支部総会の様子

## 広島支部

野村義人(56回生)

皆様こんにちは。広島在住で元マツダ社員の野村義人(56回生)です。

マツダは広島の本拠地ですが、25年余り海外6カ国に赴任してまいりましたので、広島での生活はまだ3年余りです。現在、広島支部で支部便りを担当しておりますが、土佐校時代は国語が赤字続きで、故小島先生には大変ご迷惑をかけました。作文も大の苦手で、土佐校を卒業できたのは小島先生のおかげであります。こんな私が支部便りを担当しておりますが、これからは宜しくお願ひします。

昨年、広島は、未曾有の豪雨災害に見舞われ、百数十名の尊い命が奪われました。私が住んでいる安芸郡坂町でも、十数名が亡くなり、数百戸の家が全半壊しました。幸い、私の家は難を逃れました。また、広島支部の皆さんも被害にあったとの連絡はありませんでした。

災害直後は、私の息子も被害の大きかった坂町小屋浦地区へボランティアで土砂撤去作業にかり出されました。その後、あのスーパージョントピアの尾島さんも来てくれましたし、天皇陛下、嵐のメンバーや俳優の斎藤工さんなど有名人もぞくぞく来て下さり、現

地の人を  
激励して  
くれて、  
復旧も着  
実に進み  
ました。

ですが、  
豪雨から  
もう1年  
が過ぎた

今も、広島駅から北に延びる芸備線は未だに全線復旧していません。坂町内にも仮設住宅が建設され、家を失った方が多数暮らしていますが、まだ、半数近くの方が、今後の住居が決まっておらず、不安の中生活しております。まだまだ災害の傷跡は残っております。

広島県内ではとところ復旧途中ではありますが、広島市内や宮島など観光地は、被害はほとんどなかったのが安心してお越しくださいませ。



今でも更地に廃墟化した家が残る  
小屋浦地区

## 香川支部

事務局 安岡和浩(75回生)

同窓生の皆さまこんにちは。香川支部の安岡和浩と申します。

ここ香川支部では七夕総会と称して、織姫と彦星の再会を願うがごとく、年に一度の同窓生の再会を願って、毎年7月第一週の土曜日に支部総会を開催

していません。昨年はなんとタイミングの悪いことに西日本豪雨に見舞われる中での開催だったため、今年こそは！と「無事に総会が開催できますように」と短冊に祈りを込めた結果、当日、7月6日(土)は梅雨時期では稀にみる快晴のもと第24回香川支部総会を開催できました！高松駅前のシンボルタワーにて夕日に照らされた瀬戸内の島々を見下ろしながら、ご来賓9名、香川支部35名の計44名にお集まりいただき、総会の議事はそこそこに、あつという間に懇親会へ突入！高知の地酒を片手に近況報告や学生時代の思い出話に花を咲かせていると、あつという間に2時間半の宴はクライマックスへ。最後は香川支部の応援団長・山下雅生先輩(50回生)の指揮により、出席者全員で円陣を組んでの校歌斉唱。大盛り上がりでの支部総会に、改めて土佐OBで良かったなあと感じる一日でした。

さて、私は香川・高松に来て早や10数年になりますが、その間に香川も変わったなあと実感すること一つあげるとすれば、それは外国人観光客の数。毎朝の高松駅から会社までの歩いて5分程度の距離でも、だいたい数人の外国人とすれ違います。それもそのはず、香川県はここ6年間で外国人入込客数が4万人から55万人へと14倍も伸びているんです！(我らが高知県は3万人から8万人へ。伸びシロは大きいぞ、頑張れ!)何がそんなに魅力なんだろう??と首をかしげていると、追い打ちをかけるように、ニューヨーク・タイムズが読者に進める旅行先「2019年に行くべき52カ所」で瀬戸内の島々が7位!世界シェア1位の旅行ガイドブックでのアジア太平洋地域で訪れべき目的地トップ10(2019)で、なんと四国が2位!!(ともに日本では唯一のランクイン)頭の中は?だらけ、まさに狐につままれたような思いですが、香川に関して言えば、瀬戸内の多島美、国際芸術祭や小型豪華客船「ガソツウ」が評価されているのだとか。四国で生まれ育った我々はその価値を見逃してしまいがちですが、実はすごいポテンシャルを秘めているのかもしれない。

インフラ面では四国新幹線導入に向けた機運も徐々に盛り上がりつつあり、完成の暁には観光立国・四国も夢じゃない?と思いつつ、新幹線の完成を待っていると10年も20年もかかってしまいうそなので、まずは香川支部総会への出席のついでに、瀬戸内の島巡り、財布に余裕のある先輩



「校歌斉唱」  
(写真中央: 山下雅生(50回生)、左下: 筆者)

## 徳島支部

山口 美砂(59回生)

方は「ガソツウ」で豪華に瀬戸内クルーズしてみませんか?(値段は最低でもウン十万円とか・・・)

徳島といえば阿波おどり。昨年は全国ニュースにも取り上げられる騒ぎになりましたが、今夏は運営母体が替わって「総おどり」が復活し、迫力のある乱舞を見ることができました。よさこい祭りの魅力を忘れたわけではありませんが、徳島在住28年。年に一度届く「向陽」が土佐校で過ごした時間を思い出す数少ない機会でした。しかし3年前に徳島支部が出来てからは母校が身近な存在に。在校時も卒業後も土佐校のお役に立つようなことは何一つできていない罪滅ぼしも兼ねて、今号の近況報告の任に当たります。



2019年度徳島支部総会にて

まだ暑さの残る9月14日、武市教頭先生、岡内同窓会長、千頭様、森本先生、そして関東・東海・広島・香川各支部から総勢5名の御来徳をいただき、徳島支部第3回総会が開催されました。武市教頭先生からは現役生の文武にわたるご活躍や来年の百周年記念事業などのご報告をお聞きし土佐校が重ねてきた歴史と未来に思いを馳せ、各支部の皆様からの活動報告では卒業生の繋がり

の強さと溢れるバイタリテイを感じました。引き続き行われた懇親会では、吉岡一夫支部長(50回生)自ら「安芸虎」を振る舞いあちらこちらで談笑の輪が。同窓ならではの一体感や懐かしさ・楽しさいっぱい、吉岡支部長の目指すまさに「サロン」のような楽しい時間を過ごしました。菊池義倫事務局長(52回生)の応援リードで校歌斉唱、植田滋顧問(52回生)の一本締めで中締めとなりました。

その後、岡内同窓会長から寄贈いただいた支部旗をバックに集合写真を撮るパチリ。来年もこの支部旗の下で、ともに徳島で過ごす先輩・後輩の皆様や、懐かしい先生方・全国各地でご活躍する同窓生にお会いできる「サロン」を楽しみにしています。

# 池上先生 ありがとうございます

校長 小村 彰 (49回生)

「いらっしやいませ」。学校説明会にやってきた小学生、保護者に頭を下げながら、大きな声で挨拶する校長。教員の常識ではおよそ考えられないその姿に、広報担当としての自分の至らなさを痛感させられました。思うようにかみ合っていないかった歯車が、すこしずつ回り始めたのは、そうした新校長の姿勢がきっかけだったように思えてなりません。池上武雄先生(28回生)が校長に



入学式で新中1生とともに

就任されたのは、2002(平成14)年4月。その年から、百年委員会の提案に基づくさまざまな学校改革をリードし、理事会内部での対立を乗り越えて新校舎建設を断行。未履修問題や落雷訴訟で批判の矢面にさらされながら、おだやかで誠実な人柄で学校の苦境を乗り越えました。自分と対立する意見に対しても

真摯に耳を傾け、取り入れるべきは取り入れつつ、着地点を見い出していく先生の姿勢がそれを可能にしました。誰に対しても常に腰を低くして対応しつつ、自分の懐に取り込んでいく柔らかさ・しなやかさ、その一方で、憎まれ役をかってでも、通すべき筋は通すという厳しさも併せ持っておられました。その厳しさは自分自身にも向けられ、辞表を提出されたこともありましたが、

在任中6回にわたって自らに減給処分を科しています。こうした先生の人柄、手腕、度量が、低迷を打ち破って、本校の再生につながったと私は確信しています。

校長・理事長としての16年余のご活躍を記すには、一冊の大著が必要かと思ひ



池上校長運動会にて 2010.9

## 2020年 来年5月予定 会員名簿調査のご案内

来年は創立100周年を迎えるわが母校。

記念事業の一環として、恒例の同窓会会員名簿を来年11月に発行する予定です。より精度の高い名簿を会員の皆様にお届けするために、名簿調査にご協力を宜しくお願い致します。

名簿調査は往復はがきで行ないます。記載事項に変更ない方も必ずご返信ください。

返信ない方には、電話で確認する場合がありますのでご了承ください。

### 創立100周年記念名簿作成委員会



池上理事長最後の卒業式 2018.1

ます。ご自身の手によって、いつの日か、それがなされることを祈念しつつ、理事長退任に当たったの感謝の言葉といたします。

#### 母校 / 同窓会本部 / 各支部

- 土佐中学・高等学校 事務 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosa.ed.jp/index.html
- 土佐中学・高等学校同窓会本部 会計幹事 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosaobog.com/
- 同窓会北海道支部 事務局長 山本隆昭 〒001-0018 札幌市北区北18条西6丁目 ARTE 88-305 (TEL) 011-756-2817 (FAX) 011-756-2817 (E-mail) yamat@den.hokudai.ac.jp
- 同窓会関東支部 事務局長 二宮潔 〒100-8222 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング森・濱田松本法律事務所 弁護士市川直介 気付 (TEL) 03-5223-7719 (FAX) 03-5223-7619 (E-mail) naosuke.ichikawa@mhmjapan.com (HP) http://www.tosako-kanto.org/ (E-mail) ninomiya.kiyoshi@chiyodacorp.com/ninomiya@iris.ocn.ne.jp
- 同窓会東海支部 事務局長 瀬沼憲司 〒455-0064 名古屋港区本宮町6-7-5 フォレスト本宮201 (TEL) 052-837-5834 (FAX) ナシ (E-mail) knzss@kza.biglobe.ne.jp (HP) http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/
- 同窓会関西支部 事務局長 藤原由親 〒541-0046 大阪市中央区平野町1丁目7番1号 堺筋高橋ビル6F 税理士法人アクセス 気付 (TEL) 080-9166-2400 (FAX) 06-6110-5419 (E-mail) y-fujiwara@act-cess.jp
- 同窓会広島支部 事務局長 大谷準一 〒734-0007 広島県広島市南区皆実町6-3-26-902 (TEL) 082-253-5759 (FAX) 082-254-7523 (E-mail) spat56z9@vesta.ocn.ne.jp (HP) http://www.geocities.jp/hiroshimashibu/
- 同窓会香川支部 事務局長 野村喜久 (担当=福原俊介) 〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株) (TEL) 090-7780-3722 (FAX) ナシ (E-mail) fukuhara14443@yonden.co.jp
- 同窓会徳島支部 事務局長 菊池 義倫 (担当=岡林将史) 〒770-0841 徳島市八百屋町3丁目10-2 四国銀行徳島営業部 (TEL) 088-622-4141 (FAX) 088-623-6676 (E-mail) starevue0814@icloud.com